

科目名	教育原理						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	1年	前期			
担当者名	伊藤 一統	関連する資格	幼稚園教諭二種免許 保育士資格				
授業概要 「教育」については、各々、自身が受けてきた経験を有するだけに、わかったつもりになっていることが多い。その「つもり」から抜け出して、教育の意義・目的について理解するとともに、教育の基本概念、理論、歴史について学び、教育に関する体系的知識を習得する。							
到達目標 歴史的経緯も踏まえつつ、教育についての正確な知識と理解を深めること。 特に、その社会的意義について理解を深め、教育専門職上必要な視点を培うこと。 また、その教育の実践に際しての制度的・実地的な知識を習得すること。						成績評価方法 定期試験 80% 提出物・受講状況 20%	
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験（中間・期末）	○	○	○				80
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○					10
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							
授業計画と概要					アクティブラーニング		
1) オリエンテーション～なぜ教育原理を学ぶのか ・ 教養としての「教育」、専門としての「教育」							
2) 教育とはなにか ・ 語源に見る教育 ・ 教育の目的							
3) 子ども観と教育(1) ・ 子どもとは何かを考える					資料映像視聴 ディスカッション		
4) 子ども観と教育(2) ・ 社会の変化と「子ども」 ・ 教育と子ども観					レポート課題		
5) 学校(1) ・ 学校とはなにか、学校の社会史							

6) 学校(2) ・ 学校の社会的機能と存在意義	
7) 学校(3) ・ 現代の学校体系と教育制度	
8) 学校(4) ・ 現代の学校改革と今後の展望	
9) 社会の変化と教育・保育(1) ・ 少子化 ・ ワーク・ライフ・バランス	
10) 社会の変化と教育・保育(2) ・ 産業化社会・消費社会 ・ 子どもたちをとりまく環境としての社会	
11) 生涯学習(1) ・ 生涯学習の概念と体制 ・ 学校教育と生涯学習	
12) 生涯学習(2) ・ キャリアパスと教育 ・ 市民社会・高齢化社会と生涯学習	
13) 教育・保育の制度 ・ 現代社会と教育・保育 ・ 子育て支援と現代の制度	
14) 現代社会と教育 ・ 大衆教育社会と教育 ・ ポスト中等教育の現在	
15) 「教育」という営みー 21世紀の教育に向けての教育論 ・ 社会の変化の中で ・ 教えることと学ぶこと	
授業外学習	
新聞記事の購読	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<テキスト> 「子どもと教師のための教育原理」石田美清編著（保育出版社） <参考書> 講義中において適宜紹介する。	保育原理 教育・保育職研究 保育課程論
備考	
「教育」という事象に対し、日常的に関心を寄せること。 また、教育専門職に就くための学習科目として、受講の態度と主体的学習の姿勢を重視する。	